

ふわりんこ  
風話鈴香

私達の目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見出す生活を

2023年6月  
第141号

発行所 社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑

発行責任者 理事長 中村 大蔵

〒661-0972 尼崎市小中島1-1-18 TEL06-6493-3731 <https://www.sonodaen.com>

### ご家族の存在の大きさを感じながら…

色々な形で面会制限を行ってきましたが、ご家族との繋がりを何とか保ちたいという思いのもと、4月5日に善法寺公園でのお花見が開催されました。

ようやくご家族を招くことができるという嬉しさを感じると同時に、頭に思い浮かぶのはちょうど一年前の新型コロナウイルスのクラスターです。「もう1年経つんやね」「早いね～」「大変やったね」との言葉が飛び交いました。たくさんの心配をおかけしたにも関わらず、いつも気遣いの言葉をかけて下さったご家族の皆様、元気にやっていますという姿を是非みて頂きたいと思っていました。

どれくらいのご家族が来て下さるのかという心配もありましたが、電話連絡では数名のご参加予定が、当日は10組以上の参加があり、「なかなか帰って来ないな～」と心配してしまうほど、ご家族との時間をゆっくりと楽しんでおられました。ご家族にだけ見せて下さる素敵な表情を見るたびに、企画して良かったと思います。

この3年間、コロナの影響で、園田苑に足を運ぶ機会が大変少なくなっていたと思いますが、このような機会を重ねながら、思い立った時に気軽に来て頂ける園田苑でありたいと心から願っております。

「お年寄り全員をお連れしたい！」という私のワガママに、汗を流しながら協力して下さいましたボランティアの方々や職員に感謝しております。本当にありがとうございました。  
(特養主任 大川畑 唯)



# 知恵を出し合い

## 丁寧な毎日を

施設長 関口 義信

新年度が始まり、あっという間に2か月が過ぎました。新型コロナウイルスが原因で非日常が普通になりつつある今、日々の生活に、3年前まで行っていた日常を取り戻すためには、様々な面における『工夫』を意識的に行っていく必要があります。



全ての職員が知恵を出し合いながら、

『入居者・利用者の皆様に “気持ちよく、明るい気持ちで” 毎日を過ごして頂くこと』を目標に行動し、その日その時の丁寧な関わりの積み重ねを大切にしていきたいと思います。

特養におきましては、より良いケアを目指し、生活相談員に山崎 優花。介護主任に大川畑 唯を新たに任命致しました。

日々、最善を尽くせるように努力して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

### 笑顔満開。青空喫茶

5月3日、恒例行事の“青空喫茶”を開店しました。皆さんの気持ちに通じたのか、雨の予報は開店が近づくにつれ晴天に変わり、当日は見事な五月晴れ。河川敷の鯉のぼりも元気に泳ぎ、3年ぶりの青空喫茶の開店を喜んでいるようでした。

各セクションの手作りスイーツは、入居者や利用者に喜んで頂くため、ワッフルは試行錯誤を重ね、生地の硬さやデコレーションにこだわり、白玉ぜんざいは、小豆からぜんざいを作りました。さらに、ボランティアグループ「園」からは、お店で売っているかのような出来栄えのマドレーヌやサターアングギーを提供して頂きました。



数種類のスイーツや飲み物の中から好みの物を注文。おしゃべりに花を咲かせながら、穏やかな時間が流れます。ハーモニカの演奏会も行われ、童謡や唱歌、懐メロなど様々な曲が流れる中、皆さんお元気に口ずさみ、最初から最後まで1時間以上、席を立つことなく演奏会を楽しまれている利用者もおられました。

新型コロナが予断を許さない状況の中、以前のような大規模な開催はできませんでしたが、入居者、利用者の皆さんのあふれる笑顔がとても印象的で、前日からの準備による私の筋肉痛も一瞬で治りました(笑)。

(併設型デイサービス主任 大上 扶貴子)

## 待ちに待ったボランティア「園」

入居者・利用者の生活を豊かにするためにとても大切なこと。それは、日常生活の中にある「楽しみ」です。その楽しみ作りにいつも力を貸して下さるのがボランティアグループ「園(その)」です。その活動が、本格的に再開し始めています。

ハーモニカ演奏に合わせた『みんなで歌おう』、それぞれのセンスが光る『生け花』、個性あふれる『習字』など。先日は、お花見や青空喫茶のお手伝いもして頂きました。今後は、今までになかった活動も一緒に考えて下さる予定です。

職員だけでは、なかなか手が回らない部分を、さりげなく担って下さる園さん。心から、ありがとうございます！



生け花教室



みんなで歌おう



習字



## 園田苑 新職員紹介

### (①名前②配属③好きなこと・もの)

2023年度  
法人新職員研修



- ①坂下 武治  
②特養・施設ケアマネ  
③岩盤浴



- ①橋本 育子  
②特養・介護職  
③ゴリラ



- ①穴見 正規  
②グループハウス尼崎  
・介護職  
③歌を聴くこと・唄うこと



- ①野畑 光仁  
②特養・介護職  
③寺・神社巡り



- ①野口 真紀  
②デイサービス・生活相談員  
③バンド活動 (JAZZ)



### 法人理念

阪神共同福祉会は  
すべての人の命を大切にし  
地域福祉の担い手となる



## 今年も育てます。夏野菜！

毎年の恒例になってきました支援センターの屋上菜園での野菜作りに向けた苗植え。植え付けの日をいつにするのか担当の坂井ヘルパーと相談し、気候の良い時にと、5/9～12の間で行うことを決めました。利用者の皆さんに携わって頂ける日として、5/12（金）を選んだものの、その日はなんと!!週で一番熱い日となり、利用者、職員ともども汗をかきながらの苗植えとなりました。



畝一列ずつ苗を植えていくのですが、利用者の皆さんが職員と一緒に戸惑いながら苗を植える中、手際よく苗植えをされる利用者の片嶋さんがおられました。なぜ、そんなに手際がいいのかを尋ねたところ「昔に色々やっていたからよ～」と話されます。後日、娘様にお聞きすると、以前に市民農園でご主人と一緒に野菜を育てていたとお聞きし納得。これまでは、職員が「あ～でもない」「こ～でもない」と考えながら毎年野菜を育てていましたが、これからは片嶋さんにご教授頂こうと思います。

片嶋さん！これから野菜のことをたくさん教えてくださいね。

(認知症対応型デイサービス管理者 大上 茂利)



## ☆外部講師を招いての研修を久しぶりに実施☆

皆様ご存じですか？『カスタマーハラスメント』という言葉。威圧的。理不尽。侮辱。脅しなど、対応に苦慮する要望。この支援方法についての勉強会を3月21日、関西医科大学の先生をお招きする形で、園田南地域包括支援センターが企画しました。当日は、お話だけではなく、グループワークや体験を取り入れた中身の濃い90分でした。

いつ、そのような場面に遭遇するかわからない中で大切なことは、やはり、基本的な知識の習得と事前のシミュレーション。法人としての対応方法を整備すると共に、「もし、自分がその場にいたら…」と、自分ごととして具体的な行動を考えておくことが、冷静な対応への第1歩になると思いました。



勉強中です



地域一体となった取り組みは

いささかも揺るぎない

理事長 中村大蔵

園田苑は10月12日で35周年を迎えます。

建設の準備から37年以上になります。その時のメンバーで既に鬼籍に入つた人も多く、今も直接関わっているのはごく僅かになりました。

でも、地域の人たちやボランティアグループ『園』の人たちの多くは今も健在です。

介護状況も「措置から保険」へと大きく変わり、「介護」とは何か、その中身が問われています。

昨年末、私の母が99才で亡くなりました。父は既に亡くなっており、その両親から法人に頂いた寄付は1282万円になります。地域の方やボランティアの方たちからも多額の寄付を頂いて今日があります。

私も今年78才になり、「定年?80」を間近に控え、そろそろ、私にとっての「仕上げの時期」となりました。

あれもこれもやらねばならない。やりたいことは多々あれど、地域一体となった取り組みはいささかも揺るぎない。